


活動事例	茨城県陶芸美術館 10 周年記念展の支援		
【相手先企業】	茨城県陶芸美術館，笠間工芸の丘株式会社，笠間焼協同組合		
【支援内容】	<p>開館 10 周年を迎える茨城県陶芸美術館が行った記念展『The Kasama ルーツと展開』の展示企画と，関連催事（ワークショップ）への支援を行いました。</p> <p>笠間焼の古い窯跡状況，粘土・釉薬原料の産出場所，相馬焼・益子焼との見分け方などを情報提供して，展覧会開催までの準備から，さまざまな作業を共同で行いました。詳細は，『The Kasama ルーツと展開』図録（同館発行）上に記載されています。</p> <p>展示品としても，粘土のサンプルや焼成見本を提供し，美術館だけでは実現できない見せ方を支援することができました。</p>		
			
	<p>展示物「笠間・信楽・益子の土」 10,649 名の入館者がありました</p>	<p>5/2（土）ワークショップ 「蹴りロクロ手回しロクロに挑戦！」 22 名が参加しました</p>	<p>6/5（土）ワークショップ 「笠間焼窯巡りツアー」 30 名が参加しました</p>
基礎となった事業	技術相談，芸術の森三館連絡協議会		
担当部門	工芸技術部門	部門長 佐藤 茂 主任 久野 亘央	tel : 0296-72-0316

活動事例	映画『ゴースト』撮影協力		
【相手先企業】	株式会社オズ，株式会社京映アーツ，額賀陶房		
【支援内容】	<p>1990 年公開の米映画『ゴースト ニューヨークの幻』の，アジア版リメイクとして制作された『ゴースト もういちど抱きしめたい』（松竹配給）の撮影協力を行いました。本作品の主人公が陶芸家という設定のため，リアルな演出としての物品と技術が必要になりました。</p> <p>美術・演出担当の上記 2 社と，陶芸指導の額賀章夫氏（笠間焼伝統工芸士）からの相談・依頼があり，物品の貸し出しと現場での窯詰めの演出アドバイスなどを担当しました。電動ロクロ，成形道具，素焼き作品など，合計 200 点以上の物品が，セットに使用され，主人公である陶芸家の作業場がつけられました。</p>		
		<p>2010 年 11 月 13 日より公開された本作品は，女性客を中心に 45 万人を超える動員になりました。韓国でも上映されて，アジア版『ゴースト』としての定評につながったようです。</p> <p>笠間焼の技術とセンスが，日韓交流の話題づくりにも一役買ったと思います。</p>	
		写真：名場面“ロクロ”シーンの演出を支援	
基礎となった事業	技術相談		
担当部門	工芸技術部門	部門長 佐藤 茂 主任 久野 亘央	tel : 0296-72-0316